

四季成り性いちご品種「夏のしずく」の 夏秋どり栽培における最適な栽植距離

【概要】

- 1 四季成り性いちご品種「夏のしずく」は、芽数が多く大株になりやすい特性を持つことから、夏秋どり栽培において栽植距離を株間 30cm 1 条植えとすることで、株間 20cm 1 条植えで栽培した場合よりも商品果収量が 11～16%増収します（表 1）。
- 2 株間 30cm 1 条植えで栽培した場合、株間 20 cm 1 条植えと比較して葉かき・ランナー取りの作業時間が 36%削減可能となり、雇用労働費の削減が期待できます（表 2）。

【試験データ等】

表 1 「夏のしずく」の商品果収量（R 4～R 5）

試験区	年度	月別商品果収量(g/株)								栽植密度 (本/10a)	単収 (t/10a)	対照区 対比 (%)
		5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	計			
株間25cm 1 条植え区	R4	0.0	5.3	288.3	309.9	47.9	120.1	150.9	922.3	5,333	4.9	111
	R5	8.8	214.5	362.0	301.2	23.0	23.4	73.1	1006.0	4,000	4.0	108
株間30cm 1 条植え区	R4	8.9	0.0	251.4	405.5	73.0	149.8	210.9	1099.4	4,444	4.9	111
	R5	0.0	253.2	471.7	370.6	96.1	35.6	68.8	1296.0	3,333	4.3	116
株間20cm 1 条植え区（対照）	R4	0.0	16.4	298.1	182.2	43.8	53.6	67.8	661.9	6,667	4.4	-
	R5	4.0	211.6	220.2	231.0	17.8	13.5	44.3	742.3	5,000	3.7	-

注1) 商品果は 6g 以上で AB 品を含む

表 2 葉かき・ランナー摘除に要する作業時間（R 5）

試験区	1 株あたり秒数 (s)	年間作業時間 (h/10a)	栽植本数 (株/10a)	対照区 対比 (%)	雇用労働費 (千円)
株間25cm 1 条植え区	44.5	791	4,000	74	753.1
株間30cm 1 条植え区	45.9	679.4	3,333	64	646.8
株間20cm 1 条植え区 （対照）	47.9	1064.6	5,000	-	1013.5

注1) 年間作業回数16回（4月～11月）と想定

注2) 労働費の単価は岩手県の最低賃金952円/h（令和 6 年度）で計算

耕種概要

【育苗管理】

8 月中旬採苗、挿し苗、10.5cm ポット育苗。

【栽植様式】

R4：うね間 150 cm のダブルベンチ。

R5：うね間 100 cm のシングルベンチ。

不織布ハンモック栽培槽、ヤシ殻培地。

【栽培管理】

定植日：R4. 3. 17、R5. 3. 13。

芽数放任、摘花及び摘花房なし。

施肥はタンクミックス F&B を用い、

給液 EC0.3～0.45 で管理。

クラウン温度制御、電照なし。

【令和 6 年度成果】四季成り性いちご品種「夏のしずく」の夏秋どり栽培における最適な栽植距離（R6-指-19）